

# 世界 心房細動 患者憲章

## 要旨

最も一般的な心拍障害である心房細動 (Atrial Fibrillation: AF) の患者はヨーロッパに約 600 万人<sup>1</sup>、中国に 800 万人<sup>2</sup>、そして米国には 260 万人以上<sup>3</sup>いるとされている。心房細動の患者では身体障害の原因となる脳卒中のリスクが高まり<sup>4</sup>、世界中で 1 年間に起こるおよそ 150 万件の脳卒中のうち約 15%<sup>5</sup>が心房細動に起因している。1 脳卒中とそれと伴う莫大な人的、経済的コストは、血栓のリスクを低減させる治療によって抑制可能であるにもかかわらず、<sup>6,7</sup> 多くの場合、心房細動は認識されず、未治療のままとなっている。<sup>8</sup> 心房細動と診断されたが抗凝固療法を受けていない、あるいは最適ではない治療を受けている患者では、脳卒中のリスクが高まることとなる。<sup>9</sup>

世界心房細動患者憲章は、心房細動と共に生きる患者や心房細動による脳卒中リスクのある患者のケアや治療の改善を求める世界中の統一意見を届けるために作成されたものである。本憲章では、患者の命を救い、疾患の負担とそれに伴う莫大な医療費を減らすために、政策決定者や医療提供者、保険者、国がとることのできる重要な対策に関する提言を行っている。<sup>10</sup>

心房細動、抗凝固療法、脳卒中、心臓病患者や医師会を代表する様々な組織が一体となり、本憲章を支持するに至ったのはなぜなのか？ 認識されず未治療であった心房細動に起因する身体障害や死亡による膨大な費用や負担は、各国がシンプルな対策をとることで防ぐことができる。しかし、費用抑制に重点が置かれる今、患者の視点を軽視した医療政策を加速することになりかねない。心房細動に関する認知向上と早期診断の普及、<sup>11</sup> エビデンスに基づくガイドラインに従った心房細動による脳卒中予防と治療の強化、<sup>12</sup> より継続的なケア、<sup>13</sup> 全国の脳卒中登録、<sup>14</sup> 及び既存の治療の限界を克服する新たな経口抗凝血薬、抗不整脈薬、などの新しい治療法への適時アクセス<sup>15</sup> といった最善策をとることで、心房細動患者への高品質な医療と経済的インパクトの抑制が実現可能である。

我々は、心房細動患者の生活を向上させ、心房細動による脳卒中のリスクや費用を大幅に減らすために、国や政策決定者、保険者、医療提供者が対策をとることを望む。

心房細動 (Atrial Fibrillation: AF) は脳卒中の最も重要なリスク因子の一つである。心房細動を持つ人では血栓のリスクが高まり、脳卒中を起こす確率は一般集団と比較して五倍高くなっている。<sup>4,16</sup> また、虚血性脳卒中全体の 20% が心房細動に起因している。<sup>4</sup> 心房細動による脳卒中は、心房細動のない患者の脳卒中よりも重症で、より重度の身体障害を引き起こし、予後も悪い。<sup>4,17</sup> しかし、心房細動による脳卒中の多くは早期診断、適切な治療へのアクセス、管理の向上で予防可能である。<sup>18,19</sup> 心房細動患者を早期に特定、治療することで、命を救い、医療提供者や国に与える負担も減らすことができる。<sup>10</sup>

本憲章は、心房細動患者や心房細動による脳卒中のリスクを有する人々の生活を向上させるために、政策決定者や医療提供者、保険者、国が実践することのできる明確な解決策を提言するものである。

**早期発見は命を救う。** 早期診断とその後の適切な治療によって、心房細動患者の予後は改善することができる。<sup>20</sup> また、国や医療提供者のコストを抑えることにもつながる。<sup>21</sup> 脈拍測定はすぐに、簡単に、低価格で心房細動を発見できる方法である。<sup>22,11</sup>

- ◆ 我々は、国に、心房細動に関する手に入れやすい教材や資料を用いた公共情報キャンペーンを実施し、心房細動の初期兆候や脳卒中のリスク因子、脈拍測定の重要性に対する認識を高めることを望む。

**政府は脳卒中予防により重点を置くべきである。** 心房細動による脳卒中を含む脳卒中は、予防が可能である。また脳卒中が起きたとしても、適切な管理によって、その後の人的、社会的、経済的負担を大幅に減らすことができる。<sup>18,23,24</sup>

- ◆ 我々は、国に、脳卒中及び心房細動による脳卒中の予防とケアを国の医療政策における優先項目にすることを国に要求する。また、心房細動による脳卒中の発症率、有病率、転帰を体系的、正確に記録する全国の脳卒中登録を導入することを提言する。

**心房細動の診断と治療の改善により、心房細動による脳卒中を防ぎ、脳卒中が起きた場合の転帰を改善することができる。** ガイドラインの作成は医療機関が医療を向上させ、費用を抑制する方法の一つである。<sup>25,26,12</sup>

- ◆ 我々は、米国心臓病学会／アメリカ心臓協会<sup>27</sup>、カナダ循環器学会<sup>28</sup>、欧州心臓病学会<sup>16</sup>、不整脈学会<sup>29</sup>などの著名な医学会によって作成され、広く認められている心房細動と心房細動による脳卒中治療の診療ガイドラインを実践することを医療提供者に望む。

**医療従事者の知識や技能の強化により、心房細動と心房細動による脳卒中の予防、発見、管理を改善することができる。**<sup>17</sup> 多くの医療従事者における心拍障害の認識を向上させることにより、疾患が効率的に診断、治療されるようにしなければならない。<sup>30,31,32</sup>

- ◆ 我々は、一般開業医にとっての義務である心房細動患者の診断、治療、アフターケアに関する継続的な専門教育を確実に行うことを医学部や医療提供者に求める。
- ◆ 我々は、治療過程において患者が適切な治療を受けることができるように、一次医療と二次医療との連携を強めることを医療従事者に求める。

**心房細動患者または心房細動による脳卒中リスクがある人々の予防、診断、治療を改善する革新的な技術は、できるだけ早く適切に利用できるようにされなければならない。**<sup>33</sup> 心房細動患者の入院や脳卒中の減少、生活の質の改善、長期的な心臓の健康に寄与する進歩は、至急に必要とされている。<sup>2</sup>

- ◆ 我々は、国に、最新の技術が利用可能な救急医療や脳卒中の専門家からなるチーム医療への即時のアクセスを拡大することを求める。
- ◆ 我々は、確かな臨床データと心房細動患者への影響に関するエビデンスを統合したエビデンスを検討し、医療上の意思決定に心房細動患者のニーズを反映させることを保険者に求める。

本憲章は、患者団体による委員会が独自に作成したものです。  
当委員会をサポートするため、ドイツ・バイエル社から事務局に資金が提供されました。